

PARE 基礎論 講義内容

基礎論Ⅰ 人間の活動と環境負荷

「人口・活動・資源・環境の連環における窒素循環」
農学研究院 波多野隆介教授

「水資源管理と社会」
農学研究院 井上 京教授

「環境汚染とその修復」
地球環境科学研究院 田中俊逸教授

「化学物質のリスクと管理」
地球環境科学研究院 沖野龍文准教授

「CO₂とバイオマスの資源化」
地球環境科学研究院 坂入信夫教授

基礎論Ⅱ 食料、環境、健康の連環

「家畜生産：その有用性と人類が直面している課題」
農学研究院 小林泰男教授

「水産業の持続可能性Ⅰ：水産資源と海洋環境」
水産科学研究院 John Richard Bower 准教授

「水産業の持続可能性Ⅱ：養殖」
水産科学研究院 都木靖彰教授

「人口・食料・環境」
農学研究院 近藤巧教授

「顧みられない疾病に立ち向かう術」
農学研究院 松浦英幸准教授

基礎論Ⅲ 資源の開発と管理

「水資源と水関係災害」
工学研究院 / 公共政策大学院 泉典洋教授

「日本におけるエネルギー消費と交通システム」
工学研究院 岸邦宏准教授

「地下水と地盤環境」
工学研究院 五十嵐敏文教授

「世界のエネルギー事情とバイオマス由来エネルギーの役割」
工学研究院 藤田修教授

「次世代情報通信ネットワークを支えるグリーン情報技術」
情報科学研究科 宮永喜一教授

基礎論Ⅳ 持続可能な開発に向けて：強靱化と転換

Idea on Sustainability of Marine Ecosystem
地球環境科学院 藤井賢彦准教授

Conservation and Social Justice
文学部 笹岡正俊准教授

Biodiversity and Ecosystem Services
タマサート大学 (タイ) Alice Sharp 准教授

Green Growth and Economic Transformation
愛知学院大学 吉田文和教授

Introduction to Resilience
リーディング大学 (イギリス) Henny Osbahr 准教授

Communication for Development
ポゴール農科大学 (インドネシア) Sumardjo 教授

* 詳細は URL: <http://pare.oia.hokudai.ac.jp> をご覧ください

ショートプログラム 担当教員



農学研究院
波多野隆介



工学研究院
五十嵐 敏文



地球環境科学研究院
根岸 淳二郎



農学研究院
小池 聡



工学研究院
大竹 翼



水産科学研究院
John Richard Bower



農学研究院
松島 肇



工学研究院
武田 量



情報科学研究科
池辺 将之

参加大学

インドネシア



ポゴール農科大学



バンドン工科大学



ガジャマダ大学

タイ



チュラロンコン大学



カセサート大学



タマサート大学

日本



北海道大学



PARE プログラム セントラルオフィス

〒060-0815 札幌市北区北15条西8丁目
北海道大学国際連携機構 2F
TEL : 011-706-8014 FAX : 011-706-8037
E-mail : pare@oia.hokudai.ac.jp
URL : <http://pare.oia.hokudai.ac.jp>
Blog : <http://pareproject.blogspot.jp>



PARE

Populations Activities Resources Environments
Graduate Program for Fostering Frontiers

人口・活動・資源・環境 (PARE) の
負の連環を転換させる
フロンティア人材育成プログラム



About PARE

人口・活動・資源・環境（PARE）に関連する様々な問題を解決し、アジアの発展に主導的な役割を果たすことができるフロンティア人材の育成を目指し、北海道大学とインドネシア・タイのパートナー校が協働して実施しているプログラムです。

対象者：大学院生（PARE プログラム参加大学に在籍する学生）
使用言語：英語（講義、レポート作成、講義内でのディスカッション等）



1 負の連鎖、問題解決への取組み



PARE 課題に資する「分野横断的知識」「専門的知識・技能」+「4つの力」を持ったフロンティア人材の育成



2 問題解決のための4つの力



3 専門家ネットワークの形成

PARE プログラムでは単に分野横断的な教育を提供するだけでなく、国・文化・専門分野の異なる学生とグループで一つの課題に取り組むという環境を提供することで、将来の学際的研究のネットワークの形成を目指しています。

4 カリキュラム

本プログラムでは、修士課程の学生を対象に、「基礎論」「ショートプログラム」「発展科目」「専門科目」という科目群を設定しています。

① PARE ショートプログラム修了証取得プラン

基礎論 ⊕ ショートプログラム
(1単位) (3単位)
ショートプログラムは講義、実習、演習で構成される2週間程度の集中講義です。
サマースクール【8月または9月】 場所：北海道
スプリングスクール【2月または3月】 場所：インドネシアまたはタイ

② 共同修了証取得プラン

基礎論 ⊕ ショートプログラム ⊕ 発展科目 or 専門科目 / インターンシップ
(2単位以上) (3単位) (2単位以上)
⊕ 最終報告80点以上

* 発展科目と専門科目 / インターンシップは、母国以外の PARE コンソーシアム大学に留学して受講します。

